

外国語科 年間指導計画

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	3年	

使用教材名	LANDMARK English Communication Ⅲ (啓林館)、ワークブック、サブノート、Focus on Listening (エミル出版)、READING HOPE 改訂版 (美誠社)、LISTENING ACE 10 UPGRADED 4 訂版 (美誠社)、LEAP (数研出版)
-------	--

科目の目標	
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。	

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

指導と評価の計画 (領域：L=Listening, R=Reading, I=Spoken Interaction, P=Spoken Production, W=Writing)

時期	単元	CAN-DOリスト・単元目標に基づく言語活動				総括のための観点別評価の記録				
		中心領域		単元目標に基づく言語活動 (Goal Activity/Task)	Paper Test		Performance Test			
		CE FR	ID 領域 NO		L	R	I	P	W	
4	2	A2	R	2	血液の研究と差別撤廃に生涯をささげた黒人医師について書かれた文章を読み、要点や詳細を理解することができる。	知思態	知思態			
5		A2	W	3	自身が成長した経験について、論理性に注意して、描写するパラグラフを書くことができる。					知思態
6	4	A2	R	2	「男女の脳の違いは本当にあるのか」について書かれた文章を読み、要点や詳細を理解することができる。	知思態	知思態			
7		A2	I	3	ステレオタイプの要因や、それを克服する方法について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。			知思態	知思態	
9	5	B1	R	3	差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題について書かれた文章を読み、要点や詳細を理解することができる。	知思態	知思態			
10		B1	P	5	社会的な差別の問題とその解決方法についてスピーチをすることができる。					知思態
11	6	A2	R	2	「世界一貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムヒカについて書かれた文章を読み、要点や詳細を理解することができる。	知思態	知思態			
12		A2	W	3	日常の話題について、論理性に注意して、賛否の意見を述べるパラグラフを書くことができる。					知思態
1	9	B1	R	3	文化や伝統そのものである言語絶滅の危機について書かれた文章を読み、概要や詳細を理解することができる。	知思態	知思態			
2		B1	W	5	英語は少数言語にとって代わるべきかについて、論理性に注意して、意見を述べるパラグラフを書くことができる。					知思態

備考	CEFR及びIDについてはCAN-DOリスト(別紙)を参照する。
----	----------------------------------

外国語科 年間指導計画

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	論理・表現Ⅲ	2	3年	

使用教材名	FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ(桐原書店)、英文法・語法Engage (いっずな書店)、Engage文法編準拠問題集 Basic Training Book (いっずな書店)
-------	---

科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。
-------	---

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、日常的な話題や社会的な話題について、英語で話したり書いたりして、その情報や自分自身の考えなどを適切に表現したり伝えあったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

指導と評価の計画 (領域：I=Spoken Interaction, P=Spoken Production, W=Writing)

時期	単元	CAN-DOリスト・単元目標に基づく言語活動				総括のための観点別評価の記録				
		中心領域		単元目標に基づく言語活動 (Goal Activity/Task)	Performance Test					
		CE FR	ID 領域 NO		I	P	W			
4・5	1・2	A2	W	4	電子教科書と紙の教科書の違いについて話し合えることができる。(比較・対比型) 自身が成長した経験について描写するパラグラフを書くことができる。(説明・描写型) [時制・受動態]					知思態
6・7	3・9	A2	I	4	グラフの情報を明確に説明することができる(説明型) 一人暮らしか、家から通うかどちらが良いかを述べる(比較・対比型) [助動詞・仮定法・不定詞]			知思態		
9・10	6	B1	W	4	立場を明確にして、説得的に意見を述べる(意見型) [動名詞・分詞・関係詞]					知思態
11・12	7	B1	W	4	物事を多角的に説明することができる。(説明型) [関係詞・比較・前置詞]					知思態
1		B1			[実践文法問題]					

備考	CEFR及びIDについてはCAN-DOリスト(別紙)を参照する。
----	----------------------------------

外国語科 年間指導計画

(令和6年度～)

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	スペイン語	2	3年	

使用教科書	副教材等
初級スペイン語ALBA (白水社発行・青砥清一著)	改訂版スペイン語ミニ辞典 (白水社・宮本博司編)

科目の目標
話し手や聞き手の意向などを理解し、自分の考えをスペイン語で表現する基本的な能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育成する。

評価の観点とその趣旨

知識・技能	スペイン語の音声、語彙・表現、文法を実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	日常的で具体的な話題について理解したり、簡単な情報や考えなどを交換するなどして伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	文化の多様性を尊重し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画

時期	単元の目標 主な領域において何ができるようになるのか	総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
		L	R	I	P	W		
4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語を話す国々 ・挨拶、アルファベット、数字、曜日、月 ・天候、天気を表す表現 ・SER動詞 ・季節 春 	知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・職業 ・SER動詞と形容詞 反意語 ・季節 夏 	知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・プロフィール、趣味に関する表現 ・ESTAR動詞 ・SER動詞とESTAR動詞の対比 ・ESTAR+分詞 天気の表現 ・季節 秋 	知思態	知思態	知思態		知思態	授・定	PT/PFT
11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・前置詞 ・季節 冬 ・Que hay HABER動詞 ・Donde esta 所在に関する表現 ・クリスマスカード 	知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・TENER動詞、QUERER動詞 ・時間に関する表現 ・スピーチ 	知思態	知思態		知思態	知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）

※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

外国語科 年間指導計画

(令和6年度～)

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	中国語	2	3年	

使用教科書	副教材等
中高版しゃべっていいとも中国語初級完成編(朝日出版社)	

科目の目標
話し手や聞き手の意向などを理解し、自分の考えを中国語で表現する基本的な能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育成する。

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	中国語の基本知識に関する事項を理解し、適切に活用できる技能を身に付けている。更に中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、中国語で話し手や書き手の意図などを理解したり、自分の考えを伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画									
時期	単元	単元の目標 主な領域において何ができるようになるのか	総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
			L	R	I	P	W		
4・5	1～6	中国語の発音を身につけ、あいさつや簡単な自己紹介ができる。 [声調、母音、子音、鼻音、人称代名詞、名前のいい方、疑問文]					知思態	授・定・他	PT/PFT
6・7	7～11	買い物で使う簡単な会話ができ、自分の希望や願望を表現できる。更に道順を尋ねることができる。 [連動文、助動詞、方位詞、数の数え方、年月日、曜日のいい方]			知思態		知思態	授・定・他	PT/PFT
9・10	12～16	電話での会話ができ、料理の注文や旅行の感想を表現することができる。 [量詞、時刻、時間の長さのいい方、動作動詞の完了を表す助詞、助動詞]					知思態	授・定・他	PT/PFT
11・12	17～21	家族の紹介ができ、映画やカラオケに誘ったり、人をほめることができる。 [前置詞、選択疑問文、助動詞、結果補語、様態補語、比較表現]					知思態 知思態	授・定・他	PT/PFT
1・2	22～23	買い物での会話ができ、誕生日を祝うことができる。 [方向補語、"把"構文、単純・複合方向補語]					知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）

※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄



外国語科 年間指導計画

(令和6年度～)

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	英語コミュニケーションⅠⅡ演習	4	3年	

使用教科書	副教材等
Landmark English Communication I (啓林館) Landmark English Communication II (啓林館)	「LOOP 最新の入試傾向に基づく英語長文問題集I」 (啓隆社)

科目の目標
基礎的・発展的な演習等を通して、「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」の目標・内容に示された資質・能力を育成する。

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画													
時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法
		主な領域			CE FR	主な領域において何ができるようになるのか	L	R	I	P	W		
		CAN-DO ID 領域	NO	記号									
4	1 2	W	3	ア	A2	家族や友人との関係の中で、絆や強い結びつきを感じた経験について、具体的な出来事に基づいて説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授・他	PT
5	3 4	W	3	イ	A2	日本の観光産業の強みと弱点について、明確な理由や根拠とともに、論理的に書いて伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT
5 6	5 6	P	3	ア	A2	最も役に立つ発明とその理由について、自分の意見を述べる際に必要な表現を用いて、説明することができる。	知思態	知思態		知思態		授・定	PT/PFT
7 9	7 8	W	3	イ	A2	動物園での芸術活動に関する英文を読み、活動の重要性について、利点を含めて相手に説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT
9	9 10	W	3	イ	A2	情報社会での安全生に関する英文を読み、もしSNS等のパスワードが盗まれたらどうなるか仮定して、説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定	PT
10	11 12	W	3	イ	A2	技術革新によって環境・社会問題を解決する方法を英語で提案することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）

※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

学習と評価の計画														
時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況の評価の記録					評価場面	評価方法	
		主な領域			CAN-DO ID		CE FR	L	R	I	P			W
		主な領域において何ができるようになるのか												
		領域	NO	記号										
11	13	W	3	イ	A2	将来、自分の希望する職業の仕事内容にAIがどのように役立つか、紹介することができる。	知思態	知思態			知思態	授・定	PT	
12	15	I	3	ア	A2	日本のことわざを意味や、起源、使用例などを用いて、外国人留学生に説明することができる	知思態	知思態	知思態			授	PT/PFT	
1	16	W	3	イ	A2	第二言語として英語を習得することの利点・問題点について、自分の経験に基づいて説明することができる。	知思態	知思態			知思態	授	PT/PFT	

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）

※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄